

ご挨拶

中京支部会長 大谷 寛 (高25)

中京支部の皆様におかれましては、お元気で御過ごしのことと御慶び申し上げます。天草高校同窓会中京支部会長の大谷です。

今、私は、もうすぐ桜が咲き始めようとする3月末にこの原稿を書いています。皆さまのもとに「飛翔」が届くのは山笑う若葉の時期でしょうか。そして初夏に向かう「時の記念日」前後の日曜日、今年は6月16日に中京支部総会を行います。お目にかかれるのが楽しみです。



中京支部総会は毎年、「時の記念日」の前後に総会を開催しています。かつて天草高校のマラソン大会が「時の記念日」に行われており、初代事務局長の松田安弘先輩が優勝経験者であったため、天草を懐かしみ、同窓の絆を求めて結成されたこの中京支部発足時に、このことで大いに盛り上がり、以来、この時期に総会を開催するに至っていると聞いています。

今年から「飛翔」の発送時期を総会前に変更しました。より多くの会員に支部総会を知って頂き、かつ参加していただくためです。

現在、中京支部は「役に立つ同窓会」「多くの仲間と語ろう」を合い言葉に掲げて活動しています。

ここ数年は、中京地区で開催される様々な競技の全国大会に在校生が出場との情報を得ると、有志一同で応援に行き、私達も後輩の活躍が嬉しくまた頼もしく、たくさん元気をもらってかえってきました。今後はもっとこの同窓会が、卒業生にとって“中京に住んでいる親戚の叔父さん叔母さん”役をやれるような組織になれば嬉しいと思っています。後輩の為に何か出来ることは遠く離れている私達にとって喜びです。微力ながらお役に立ちたいと思っています。

また、インターネットの普及、ホームページ等のおかげで、本当に多くの仲間と話すことが出来るようになりました。これは情報の共有がすぐに行え、反応もすぐ返ってきます。天草高校の先生方からの情報・本部からの情報・他地区との共有等。特に嬉しい知らせの時は、仕事も手に着かないくらい情報交換をやり、まさしく嬉しい悲鳴の時もありました。

これからは特に、若い人達が興味を持ってくれる画面作り、また活動内容の吟味が必要です。ほとんどの人がインターネットを使って行動する時代ですから、ますますホームページの充実が求められていくことと思います。反面気を付けなければならない情報も数多くありますが、それらを踏まえつつ、どうぞ、いろいろな思い・情報を中京支部のホームページへ寄せてください。

ふるさとは 遠くにありて 思うもの

“近くに 人ありて は語るもの” にしませんか。

最後になりましたが、天草高校同窓会中京支部の更なる発展のため、皆さん健康に留意され、今後ともますますのご協力をお願いいたします。

飛

翔

発行 天草高等学校
同窓会中京支部編集・印刷
中京支部事務局

天草灘に沈む夕景

「天草の未来」～改元の年に考えること～

天草高校同窓会 函南会会長 安田 公寛

3月1日、県下の公立高校では例年通り一斉に卒業式が挙行されました。天草高校でも241名の卒業生が、大きく函南の翼を広げ新しい時代の大空に飛び立ちました。今年は平成最後の卒業式とあって、会場では卒業生はもとより臨席した私たちまで例年と少し違った緊張感を憶えました。

いよいよ4月には新入生を迎えることとなりますが、その数が年々少なくなっているのが何とも寂しく思われてなりません。今年、天草高校は入試の段階で定員割れでしたが、これはなにも天高に限ったことではなく、熊本市外の公立高校のほとんどに見られた現象です。日本の人口減少の流れの中で、人口の東京一極集中が顕著であるように、地方でも中心都市部に集中している結果だと言われています。これは今や日本社会の大きな問題であり、その対策は喫緊の課題であると思われます。

先日、私は天草森林組合の野島専務（天高26）や井上善徳先輩（天高10）に先導して頂き、天草高校の学校林を視察しました。私としては50年ぶりに登った学校林でしたが、見事に成長した幹周り120～130センチの檜がおよそ3500本整然と立ち並んでいるのを目の当たりにして感動しました。記録によると昭和15年、皇紀2600年の記念事業として天草高校の未来のためにと先輩方が、山林面積4ヘクタールに檜の苗木を植樹したとありますので樹齢80年になります。現在、同窓会の大切な財産として管理をさせていただいておりますが、残念ながら木材の価格は依然として低迷したままです。しかし、私は山の価値は木材の価格ではなく、木を植えた人の心にあると思います。学校林は私たちの誇りです。私はおもわず檜の幹に手を当てて「ありがとうございます」と先輩方に感謝の気持ちを伝えました。

さて3月23日には嬉しいニュースが舞い込みました。現在SSH指定校として様々な研究に取り組んでいる天草高校の科学部が、筑波市で開催された「つくばサイエンスエッジ2019」で天草の未来を研究テーマにした「50年後の熊本は～珪藻、花粉分析から海水準変動の未来予測」を発表、見事に「探求指向賞」に輝き、全国の代表として世界大会の出場権を獲得したということです。私は、この現役生たちの天草を愛する心と頑張り感激すると共に、世界大会に向けて同窓会としても大いに応援していかねばと思っています。

今年は改元の年、この節目の年にあたり私たちも心新たに日本の未来、とりわけ天草の未来について真剣に考えてみたいものです。



たまには、天草へ「みぞか」で行ってみなっせ！

- 天草⇄福岡 1日3便 住民割引で¥11,200～
- 天草⇄熊本 1日1便 同上 ¥6,100～
- 熊本⇄大阪(伊丹) 1日1便 ¥9,900～

※1機のみで運行していますので、事前確認を！

<https://www.amx.co.jp/>



飛翔を習う雛鵬

天草高等学校長 平田浩一(高3 1回卒)

天草高校同窓会中京支部の皆様におかれましては、御清祥にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素から本校の教育活動に対しまして、御理解、御支援を賜り心より感謝申し上げます。また、本校生徒の大会出場の際には、心温まる御支援・御協力を賜りありがとうございました。

さて、本校は平成 29 年度から文部科学省 SSH の指定を受け、世界に飛躍する科学技術人材の育成に取り組んでいます。昨年度は、新たに関西研修や海外研修の実施などグローバル社会で活躍する人材の育成にも取り組みました。研究テーマは天草にこだわりながらも、活動フィールドは国内外の大学・企業と連携して進めており、学校全体として探究活動が充実し研究に広がりや深まりが出てきました。生徒たちは、研究発表会にも意欲的に参加し、プレゼンテーション能力が向上するなど自信を深めています。その成果として、3 月に開催された「つくば ScienceEdge2019」において、見事「探求指向賞」を受賞し、日本代表として、7 月にシンガポールで開催される「世界大会」への出場権を得るという快挙を成し遂げました。



次に、後輩達の活躍を紹介させていただきますと、昨年度、部活動においては科学部が全国大会に出場しました。九州大会には、陸上部、水泳部、男子ソフトボール部、吹奏楽部(ソロ)が参加しています。県大会においては、女子ソフトテニス部 3 位、女子ハンドボール部 3 位、吹奏楽部金賞、合唱部銀賞、美術部特選、など活発に活動しているところです。

定時制においては、県定通文化大会で展示・発表を行い、好評を得るとともに県高等学校教育研究会地歴公民部会生徒研究発表大会において全日制を含めた他校を抑え見事に優秀賞を獲得するなど、活躍しているところです。

このように、部活動や各大会等を通して、雛鵬が翼を鍛え、日々成長しているところです。この春には、卒業生が各地にお世話になっています。どうぞよろしく願いいたします。天草に帰省された折には、より魅力を増している母校にもぜひお立ち寄りください。天草高校同窓会中京支部の益々の御発展を祈念申し上げます。

Petit Amande

2-45 DAICHISHINMACHI
IWAKURA AICHI
TEL 0587-66-7021
www.petit-amande.com

求学志成 -求めて、学べば、志は成る-
熊本県立天草高等学校

SSH
Super Science Highschool



「ますますのご発展を！」

関西図南会(通称:あまたか関西) 会長 山中 良三郎(高18回卒)

現時点では(3月現在)新元号はまだわかりませんが、5月1日から平成に代わり、新しい時代となります。それに伴い、我々も気分を一新し、「図南会」をさらに盛り上げていかねばなりません。

昨年秋の関東あまたか会の時、福田事務局長から「大谷会長が入院手術なされておられる。」とお聞きし、我々はずいぶん心配しておりました。先月2月末、天草高校で実施された新卒業生の「図南会入会式」で大谷会長が参加されて、お顔を拝見して「あ〜あ 良かった!お元気だ〜」と、思わず握手をいたしました。大事でなくて良かったですね。



中京図南会さんは、去年は総会参加会員さんが増加され驚きました。それは現役員の方々の並々ならぬ努力の賜物と知り、あまたか関西も、もっと努力しないといけないと役員会で反省し、総会案内を岡山・広島の会員にも案内状を出すことにしました。結果にはまだ結びついていませんが、継続して案内してまいります。

とにかく同窓会というのは、形式ではなく、愛情のある心の友と会える会でなければ意味がないと思っていますが、その点では中京図南会さんは本当に家族的で、いつも参加させて頂くとき、ほっとします。いいですね〜。

今年の秋には、関東あまたか会さんのお世話で、第三回「三地区(関東・中京・関西)交流会」が実施されます。長野県の「池の平ホテル」で、又、皆さんと一緒に飲み、天草弁で語り、歌いましょう。あまたか関西も、もっと多くの同志が参加してくれるようにはたらきかけます。どうか仲良くしてください。

そして、中京地域の発展とともに、中京図南会が、ますますいい同窓会になることを祈っております。6月の「ルブラ王山」での第38回総会には、私も参加させていただきます。どうかよろしく。

関東あまたか会について

関東あまたか会会長 松尾和幸(高16回生)

中京支部の皆様、いつも関東あまたか会がお世話になっております。今年で8回目の挨拶になります。今回は、新卒者や在学生との交流についてお話させていただきます。

4月に図南会事務局から、関東へ進学・就職しました新卒者の名簿(実家の連絡先)を知らせていただきます。実家へ関東あまたか会についてお知らせし、新卒者の連絡先、特に携帯電話及びメールアドレスを教えてください。個人情報に厳しいこの頃ですので、これらの情報収集が一苦労です。



新卒者が関東へ来て少し慣れた6月に歓迎会を開催します。去年は、新卒者4名及び在学生2名が出席してくれました。10月の総会・友好の集いには、新卒者及び在学生は無料招待します。去年の総会には、3名の新卒者が出席してくれましたが、そのうちの1名が、定時制高校出身のため、なんと総会前日が二十歳の誕生日と分かり、出席者全員で成人祝を実施しました。同窓会での成人祝は極めて希なことと思います。東京は、降雪10cmが予想された2月9日(土)に、在学生の卒業祝い兼就職祝いを実施しましたが、卒業生4名、在学生3名、更に4年前の卒業生2名が加わり、若手9名と若々しい賑やかな会となり、会長冥利に尽きました。今年の「関東あまたか会総会・友好の集い」は、10月27日(日)12時から、例年通り四ツ谷駅傍の「スクワール麹町」にて開催しますので、上京されるようでしたら気楽にご出席ください。

3 地区交流会のご案内

中京、関西及び関東の3地区同南会は、4年前から長野県白樺湖「池の平ホテル」に集まり、交流会を楽しく開催しています。2年前は、中京支部にお世話になりました。今年は関東あまたか会が幹事役を務めさせていただきます。「黄金のアカシア」の黄色が最も美しくなる季節です。

何故、白樺湖の「池の平ホテル」なのか？白樺湖を大リゾート地に開発されたのが、本渡高等女学校卒の故矢島(旧姓松下)静子様だからです。終戦直後、長野県の山奥へ嫁がれ、電気の無いランプ生活をしながら、白樺湖を開発されました。

中京支部からは、名古屋駅太閤口バス乗り場を9時発の無料送迎バスでホテルへ直行します。

計画の概要は次のとおりです。

一 日時 2019年9月28日(土)～29日(日) 1泊2日

- ・移動はホテルの送迎専用バスにて。他の旅客も同乗します。全席指定。
- ・往路 名古屋駅太閤口バス乗り場8時50分集合～9時発、13時ホテル着
- ・復路 14時35分ホテル正面玄関前集合～14時45分ホテル発、19時名古屋駅着

二 場所 池之平ホテル

〒391-0392 長野県北佐久郡立科町芦田八ヶ野 1596 (白樺湖湖畔) 電話 0266-68-2211

三 費用 1万8千円(宿泊費・懇親会込)

お友達をお誘い合わせの上、気楽にご参加ください。申し込み先は以下まで。

- ・福田和幸事務局長(☎090-3566-3445)又は、山中麗子3地区交流会事務局長(☎090-7847-8384)

3地区交流会実行委員長：明瀬建(高17回生)

3地区交流会事務局長：山中麗子(高21回生)



名古屋駅集合場所



白樺湖対岸から池の平ホテルを望む

年会費納入のお礼とお知らせ

当中京支部の運営は、年会費¥2,000及び広告掲載のご協力による収入の恩恵に寄っています。中京支部の運営をより円滑にするためにも、尚一層のご協力をお願いいたします。学年同窓会や家族の話題、会に対するご意見など受け付けますので、下記へ通信をお寄せください。

宛先；中京支部事務局 福田 和幸 〒467-0006 名古屋市瑞穂区御簗町 3-22

☎TEL・FAX：052-851-1725・☎携帯・SMS：090-3566-3445

PC Mail: bp0evvbt@tg.commufa.jp 携帯 Mail: fukuda.kazuyuki@ezweb.ne.jp

中京支部ホームページ：http://amachu.iinaa.net の「談話室」「問い合わせ」まで

ゆうちょ払い込み(一般銀行からの振り込みもできます 店=089、当座=0135978)

口座記号番号：00810-2-135978・加入者名：熊本県立天草高等学校同窓会中京支部

天草高校同窓会中京支部

大谷千賀子（高30本渡出身）

「天草高校同窓会中京支部」 この会の存在は私にとってとても大きなものだと思います。天草にいたとしても、こんなに天草を感じながら日々生活しているかしら。天草を思いながら暮らすきっかけは、この中京支部の存在に他ならないと思う今日この頃です。

高校卒業後、大学進学は、当時いとこ達がみな東京にいたこともあり迷わず東京へ。就職も東京。その後、同じ本渡出身の主人と結婚し名古屋へ。当地には知り合いもなく、東京を離れたくなかった私は都落ちの心境でした。名古屋にあまりなじめないなと思っていたところ義母を介して、支部総会への誘いがありました。主人の母が高女29回生で、当時、中京支部には高女卒の先輩方が多くいらっしやいました。同期会でもないのに行っても良いのかなあ？先輩ばかりはちょっと敷居が高いなあ。と思いつつ(半ば強引？に)参加しました。

中京支部発足間もない頃だったので、先輩方のパワーは全開。圧倒される位でした。その後、長女は生後半年から次女長男も同様に。乳飲み児等3人の子供を連れて、家族総出の参加となりました。みなさんからは親戚の子供ばりに可愛がっていただき、本当にお世話になりました。一番下の男の子はメロンの食べ放題はいつ？と聞くほど(みなさんがフルーツやケーキをテーブルへ持ってきてくださるので)楽しみな会でした。

上の子の部活動が始まってからは、徐々に子供もついて来なくなりましたが、名古屋で暮らす子供達にとっては、両親の故郷とはいえ、盆と正月の2回しか行かない両祖父母の地は、身近では無かったと思います。しかし、わが家では中京支部のおかげで、よく分からない天草弁が飛び交う中でも"天草"を身近に感じる不思議な日々でした。おかげで親からの言葉より、自分たちで天草を肌で感じてくれたことと思います。

みんな天草が大好きです。知らない土地でも、ただ「天草高校卒業生」という言葉だけで年代も環境も違う私達が、すぐ打ち解け合える不思議な言葉。大切にしていきたいと思っています。



天草市では、出身者などつながりを深めながら、魅力的な地域づくりを行うため、「天草市ふるさと住民登録制度」を新設しました。これは出身者等がふるさと住民(あまくさんサポーター)として登録し、自身が市に協力できること、市のためにやりたいことを記載するもので、登録情報をもとに市内の団体などの利用希望に応じてマッチングし、お互いにつながりを深めながら、ともに市を盛り上げていこうというものです。登録された人には「ふるさと住民カード」を発行し、天草市に関するさまざまな情報をお届けします。天草市の出身の人も出身ではないけど天草が大好きな人などたくさんの皆さんの登録をお待ちしています。お気軽にお申し込みください。熊本県 天草市 地域政策課 ☎ 0969-27-6000 (直通)

●ふるさと住民登録要件 ※原則、市外在住者の人が対象となります。

(1)市の出身者の人、(2)家族や親戚が市に住んでいる(住んでいた)人、(3)市にふるさと応援寄付金をしていただいた人、(4)市内に固定資産を所有している人、(5)市内に通勤、通学している(していた)人、(6)郷友会、ふるさと会などの団体に所属している人、(7)その他、市に愛着を持ち、ふるさと住民として積極的に関わっていただけの人

●Web上でのお申込みはこちらから

re-furusato-gp@amakusa-web.jp

へ空メールを送信。返信メールに記載してあるURLへアクセスしてください。



天草市ふるさと住民登録制度実施要綱はこちら⇨

天草市を応援したい！その想いを待ってます！
天草市ふるさと住民

<特別付録>

「短命の人工島・天草炭業烏帽子炭坑」 国土地理院では「えぼうす」。資料から、部分抜粋しています。

(1)明治31年1月19日 ※[天草炭業実況談 児島喜三郎/述「築地 水月樓」において]より抜粋

明治三十年十一月三十日の夜八時頃に天草に着。翌朝、第一に覗ましたのが、最も此の会社の望みを屬して居ります烏帽子坑でございます。會社で当初噂する所に依りますと、爰の炭質は、彼の世界第一と称する英のカハテフ炭を凌駕し、鉦区の広大なるは有名の高島坑よりも大なるもので、之を評価したら百万圓というても百五十万というても不当でないという話で、今思えば、丸で夢を見て居ったので、私も其の当時、此の話を丸で信じて居らんが、又、皆無に信ぜんでもなかった。

底で、此の坑は、海中の烏帽子の如き岩が突出して、夫れから六百間程斜めにちいさい岩がある。其の岩の下は、一面の石炭であると申すのでございます。実に広大な鉦区には違いない。此の烏帽子岩に石垣を繞らし、是へ陸から橋を架け、其の橋へ軌道を布き、六尺に三十尺の蒸瀛機関(明治14年実用化)が二個と捲揚器械が据え付けてございます。先頃、海軍の磯部さん、其の後に武田さんと訪れ、孰れも炭業熱心の将校方が御巡回の際、此の鉦区を御覧になりまして、其の炭質と云い、其の設計と云い、鉦区と云い申し分ない名鉦区であると深く賞賛せられたということでございます。

茲には豎坑(揚炭・入気・排水)と斜坑(運搬)とある。斜坑は、目下、三十六間半程往っている。若し之が三十間往ければ大した物であるという事です。今、石炭も出せぬ事はないが、夫では、坑口を掘るから鉦区がだいなしになる故、成すべく工事を進ませて、掘りが利益であると申事です。大体二月末か三月初めから掘るようになりましょう。

(2)明治31年3月? ※「天草炭業(株)牛深事務所から東京本社への書簡(松岡幾四郎?と思われる)

[早稲田大学図書 イ14・A4073] 大正11年大隈侯爵邸寄贈資料による

<目下の実況>

・烏帽子坑は、波除け堤防・栈橋等の外部工事は総て落成し、坑口より坑道の工事は一月迄支障なく進行せしに、一月中旬に至り(ドヤ^{※1})に出遇ひ、大いに進行を妨げしも、其の後、漸く之を鑿ち通し、炭層に達したるを以って、二月二十三日より掘り延べに従事す。是が為めに六十余日を費やし、目的の地に達するの時日を遅延せり。

※1: ドヤ=別名ホヤ炭・ドマグレ炭・盤折炭とも。断層作用によつて圧碎された粉炭。fault coal。

頃日、海軍中監「武田秀雄」天草に出張し、烏帽子坑に来たり。烏帽子の、炭量に富み炭質の良好なるを視る。我、海軍をして幾多の勢力を加ふるに至りしとして称賛、己まざりしと云。海軍省にては、練炭製造所設置費四十萬円の案を議会に提出せられし。其の計画書を「承」はるに、炭は天草の無煙炭を用ひんとするも、優等の炭は、我會社所有の烏帽子・一丁田・念河原・新田平・茂串・権現山及び所属の志岐・中の鼻の諸坑にあらざれば、無限の原料は他に得がたし。之に由て皆を觀れば、我社の炭鉦は、我、海軍力の消長に関する浅小ならざるなり。

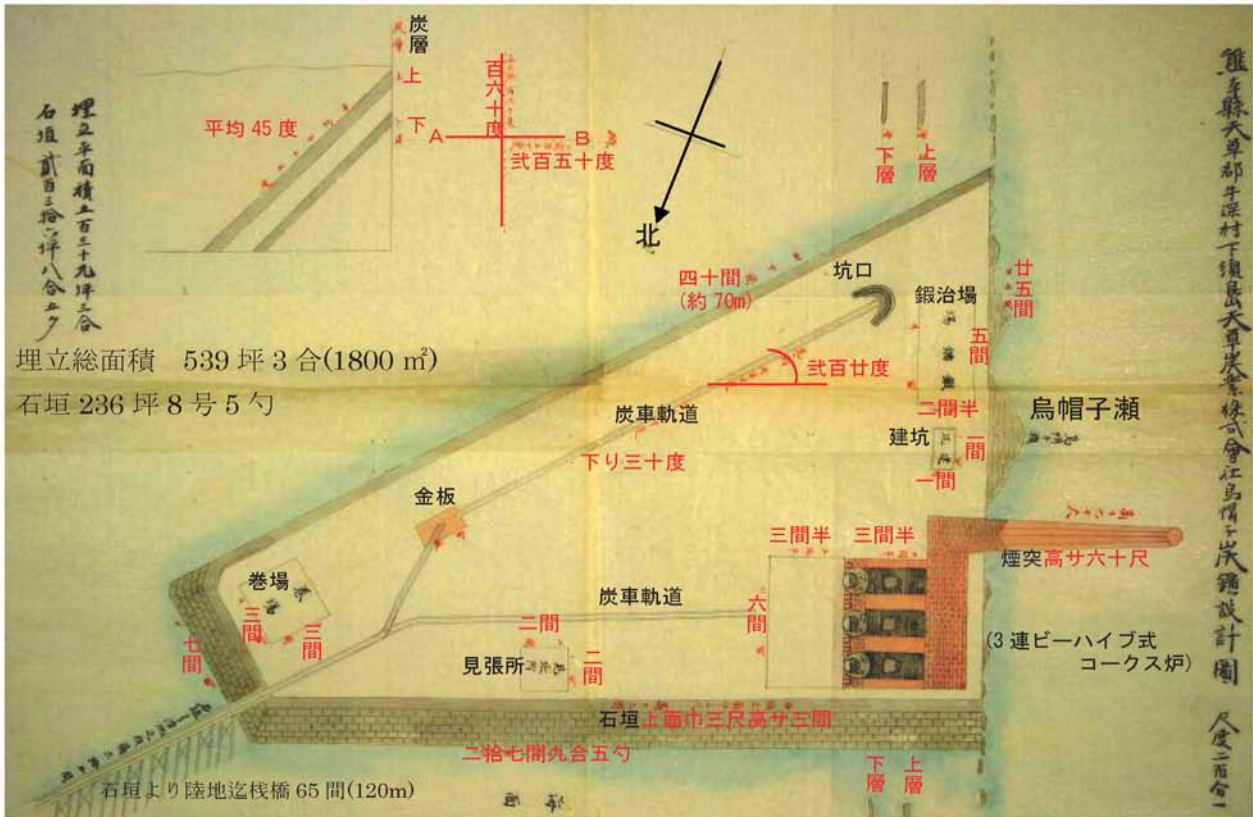
(3)明治36年

※明治三十七年地質調査所刊行地質要報第三號の「天草下島煤田：金原信泰」による

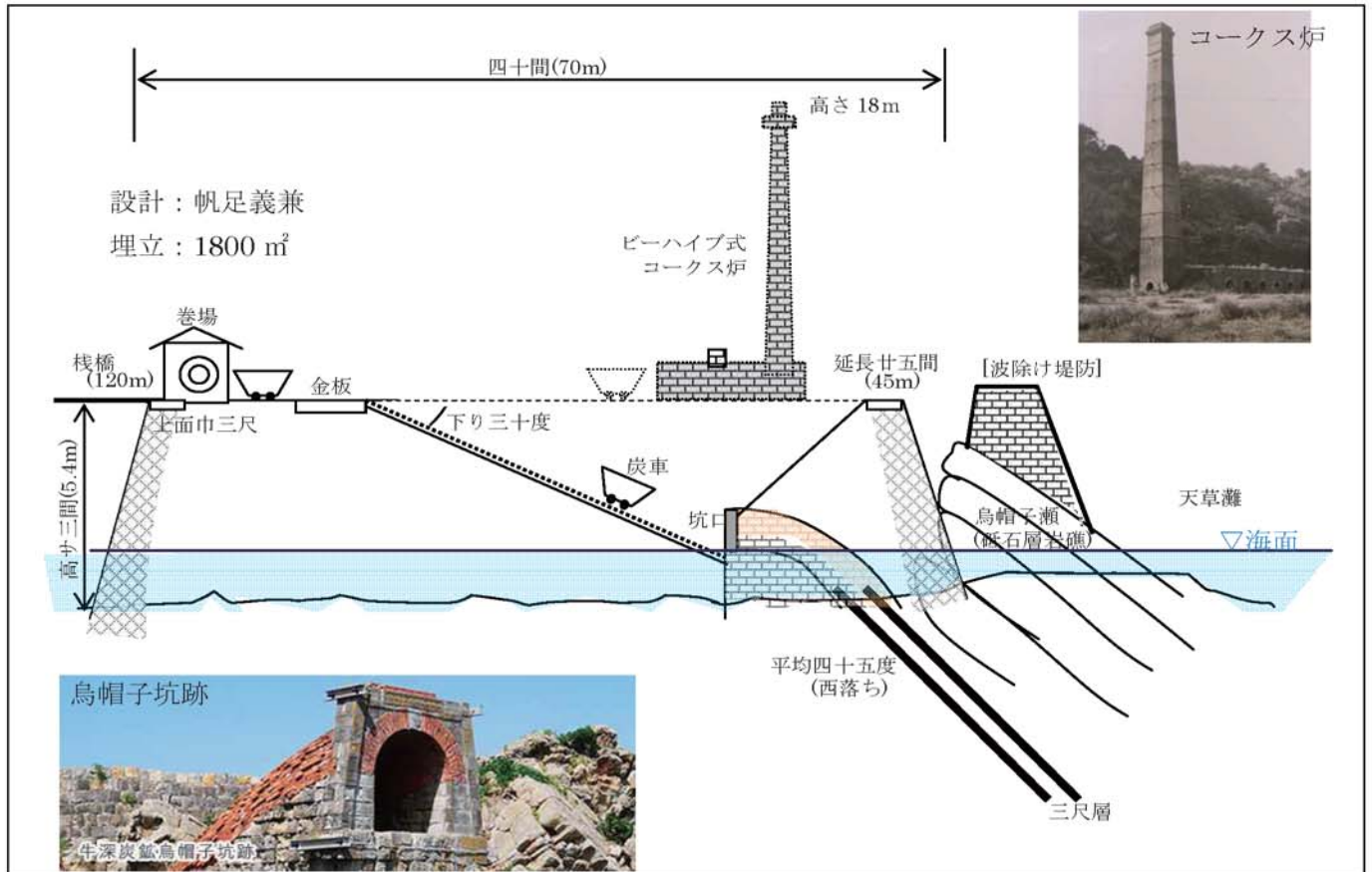
烏帽子島炭坑(閉山休業)：烏帽子島は下須島に接し、其西岸に在る墓爾たる岩礁にして其徑十數間に過ぎず。聞く所によれば、上層(三尺炭層)は此處に稼行せられ、一時其業盛ならんとせしも、産額十餘萬斤に過ぎざるに、既に排水に困難を感じ、遂に抛棄の止を得ざるに至りしものといふ。とある。



1斤が600gとして、15万斤出炭したと仮定すると90t。10tダンプで9台分となる。金原博士が「島」と表現したのは、100m四方の人工島が船上の眼前にあったためであろう。日本帝国陸軍陸地測量部「明治34年測圖昭和7年修正測圖同10年部分修正測圖1/50,000地形図」(左図)では、下須島小森地区の沖合100mに、コの字型のコンクリート擁壁(岸壁?)が記載されており、その威容は、「瀬」ではなく、見た目、まさに「島」である。



<参考：熊本縣天草郡牛深村下須島 天草炭業烏帽子炭坑設計圖> 抜粋



<参考：烏帽子炭坑設計断面想像図・北より見る>

※児島喜三郎／述、松岡幾四郎？書簡には、「コークス炉」が記述されていない。ここに、水密性の高い「貯水場」を造ろうとしたかも知れません。塊炭は、無垢のまま、崎津練炭製造工場に運炭船で運搬されたと想像しますが…。短命でした。

※烏帽子坑(天草ジオパーク Web より転記)※写真掲載は、事務局の許可を受けています。 文責：福田和幸